

海の事故情報（七管区） 【速報値】(12月20日～12月26日)

令和3年12月28日

船の事故	発生日	発生日	船舶種類	事故形態
	12月20日(月)	福岡県	貨物船	乗揚
	12月24日(金)	福岡県	その他	火災
	12月25日(土)	福岡県	漁船	運航不能(その他)
	12月25日(土)	大分県	タンカー	衝突
	12月25日(土)	大分県	タンカー	衝突
	12月26日(日)	大分県	貨物船	単独衝突
12月26日(日)	大分県	タンカー	乗揚	

人の事故	発生日	発生日	事故区分	事故内容
	12月25日(土)	福岡県	マリレ以外の海浜事故	帰還不能
	12月25日(土)	福岡県	マリレ以外の海浜事故	帰還不能

**強風による海難が3件発生
冬場の荒天に注意しましょう。**

【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 浦川
安全対策調整官 川部
Tel: 093-321-2931 (内線2640)

【事故事例】

令和3年12月26日13:10頃、タンカー(長さ約60メートル、498トン)が着棧作業中、右アンカーを投錨しながら、速力約2ノットで進入していたところ、北西の風により、南側へ流され始めたため、再度投錨しようとしたが、そのまま付近浅瀬に乗揚げたもの。タンカーは、タグボートにより浅瀬から引き出され救助された。
事故当時は、強風波浪注意報が発令中であった。



12月から2月末にかけて、西高東低の冬型の気圧配置の影響を受け、北から西寄りの強風により急激に時化る場合がありますので、冬場の気象・海象に十分注意しましょう。
今週は、上記事故事例の他にも強風が原因となった衝突海難が2件発生しています。
冬場の荒天対策に以下のことを行いましょう。



●冬場の荒天対策

・最新の気象情報の入手

荒天への対応は早めが肝心です。冬場は急激に時化る場合がありますので、常に最新の気象・海象情報を入手しましょう。荒天が予想される場合は、思い切って出港を見合わせる、早めに避難、帰港する等の判断をしましょう。

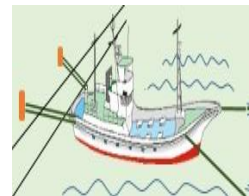


・走錨に注意

錨泊中であっても見張りを怠ることなく、アンカーワッチを配置して、気象の状況や自船及び他船の動向に注意しましょう。また、走錨に備え機関をスタンバイとしておき、危険と判断すれば揚錨して安全な錨地に転錨しましょう。

・係留状態の点検

寒さが厳しくなり、出港する機会も少なくなっていると思いますが、時折、天候のいい日に係留ロープの傷み等がないか係留状態の確認しましょう。また、荒天が予想される際は、増しもやいや防舷物の追加等、係留強化を行いましょ。長期に使用しない場合は、可能であれば陸揚げ保管しましょう。



寒さの厳しい日が続きますが、体調に気を付け、海難にも気を付け、良き新年をお迎えください。来年もどうぞよろしくお願いたします。